

# 64億円

市民の税金を投入して

## 議会棟が主たる

# 第二庁舎建設は

# 見直しを！

昨年の12月市議会で、森尾市議が市役所の後ろの場所に建設予定の第二庁舎建設について取り上げ、計画を見直すよう求めました。

現在の議会棟は十分使えるのに！

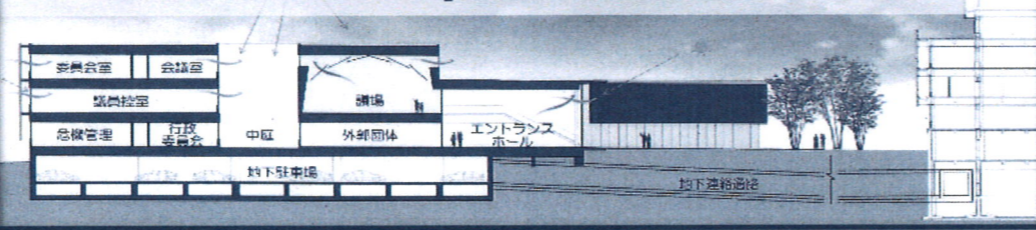
現在の議会棟は、昨年耐震化工事が行われ、十分使えます。ところが、第二庁舎建設計画では、議会棟そのものがメインとなつていきます。30億円で本庁舎を耐震化し、議会棟も十分活用できるのに市民の税金64億円を投じて議会棟が主たる第二庁舎建設を進めなければならぬのか。議会でこの点をたえました。



■市庁舎の後ろの場所に建設予定の第二庁舎(予想図)

市役所庁舎に通じる地下通路が必要だとし、8億4千万円を投じて建設する計画です。果たして必要でしょうか。

### 地下通路まで計画



### 金沢市役所第二庁舎建設計画

	素案(H27.11.12)	骨子案(H28.1.15)
議会(吹き抜け含む)	2500㎡程度(48%)	2500㎡程度(50%)
外郭団体(金沢技術創造財団など)	800㎡程度(15%)	800㎡程度(16%)
職員センター	800㎡程度(15%)	800㎡程度(16%)
危機管理センター	500㎡程度(10%)	500㎡程度(10%)
会議室	400㎡程度(8%)	200㎡程度(4%)
行政委員会(選挙管理委員会など)	200㎡程度(4%)	200㎡程度(4%)
共有スペース(廊下、トイレなど)	4800㎡程度	3500㎡程度
合計	10000㎡程度	8500㎡程度
建設費概算	65億円	64億円 (老朽道路通廊 約8.4億円)

※(%)は、共有スペースを除いた占有率

市は、素案を見直し、基本設計骨子案を1月15日開かれた特別委員会に提案しましたが、事業費は、64億円です。設計費と解体費は除くとされています。議会棟と地下通路は見直しがされていません。

### 議員報酬の引き上げを検討

現在の議員報酬が20年近くにわたり据え置かれているとして、その引き上げが検討されています。しかし、市民生活の現状や議員報酬が中核市平均(月額60万円弱)からして、日本共産党は、むしろ引き下げるべきとの意見を述べています。

### 中核市では上から5位の議員報酬

No	市名	報酬月額		
		議員	議長	副議長
1	東大阪市	700,000	800,000	740,000
2	西宮市	687,000	827,000	748,000
3	鹿儿岛市	686,000	790,000	738,000
4	姫路市	685,000	823,000	747,000
5	宇都宮市	670,000	800,000	710,000
6	倉敷市	670,000	780,000	720,000
7	金沢市	670,000	780,000	715,000

お気軽にご相談下さい

ひとりで悩まず……困ったときはお電話を

日本共産党 金沢市議員団  
☎220-2407 (議員団控室)

日本共産党 金沢市議員団  
ニュース

No.311 2016年2月・3月号 日本共産党金沢市議員団  
金沢市広坂1-1-1 金沢市議会内 TEL.076-220-2407 FAX.076-260-6588  
Eメール jcp.kccd@spacelan.ne.jp 金沢市議員団 検索

# やめてください！ 家庭ごみ有料化！！



去る1月7日市民本位の金沢市政をつくる会(市民の会)が市長に対して、家庭ごみ有料化を行わないよう求める署名3069筆を提出しました。引き続き、反対署名が取り組まれています。

## こうした取り組みで ごみを減らしましょう

横浜市、名古屋市などでは、有料化せずにごみの発生抑制、分別の徹底で資源化を進めています。こうした自治体と比べ本市では十分な取り組みとなっておりません。新聞紙、雑誌類、古着類の回収、資源回収の常設化、せん定枝の回収と再生利用、生ごみの減量化、資源化に向けた市民的規模での取り組み、事業系ごみの分別徹底などです。こうした取り組みを市民の理解と合意で進めることを提案しています。



1月14日開かれた市の廃棄物総合対策審議会で家庭ごみ有料化について審議されました。この中で、町会では十分な合意がないとして、すぐに有料化する

ることに異論が表明されました。市民の理解と合意が無いまま有料化を導入してはなりません。

「有料化」先にあるべきでは納得できません。  
……審議会では「時期早尚」の意見

本来、市民の税金でごみ処理がされているはずなのに、市民から料金を取るの税金の二重取りではないのか。有料化してごみは本当に減るのか。不法投棄など新たな問題を引き起こすことにならないのか。様々な意見があります。有料化計画案に対する市民から寄せられたご意見が301件にのぼっています。

市民の理解は  
得られていません。

市が指定するごみ袋を買い、これを使ってごみ出しをすることになります。標準家庭の年間負担額は、約4000円となります。  
「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」(埋立ごみ)の指定ごみ袋の色を分けるとしています。

家庭ごみ有料化って  
どんな内容ですか。



週二回の燃えるごみや、月一回の燃やさないごみ(埋立ごみ)を出す際に、市が指定したごみ袋を買い、使うことになる家庭ごみ有料化が検討されています。  
昨年の12月議会では、広田市議がこの問題を取り上げ質問いたしました。この間の議論をまとめました。

指定ごみ袋の種類と手数料の額(販売価格) 【税込】

指定ごみ袋のサイズ	1枚当たりの価格 (1リットル当たり1円)	販売価格 (10枚セット)
5リットル	5円	50円
10リットル	10円	100円
20リットル	20円	200円
30リットル	30円	300円
45リットル	45円	450円

※「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」の指定ごみ袋の色を分ける

標準世帯(大人2人・子供2人) 予想負担額  
1ヶ月約350円(年間約4,000円)

